

南仏治安情報（2013年6月）

（1）テロ、デモ、反社会的活動

コルシカ島発生、コルシカ民族解放戦線（FLNC）による声明の発表

4日、ヴァルス仏内相がコルシカ島を訪問中、FLNCは「フランスが2世紀半続くコルシカ管理の壊滅的影響について何らかの策を講じるか、それともコルシカ国民を破滅に導く役割を演じ続けるか、返事によっては武器を再び手に取る用意がある」との声明を発表した。

（2）殺人

ア マルセイユ発生、カラシニコフ使用の殺人事件

5日の夜、15区の rond-point Foresta を自転車で走行中の中年男性が、何者かに射殺されたもの。被害者の遺体には13発の弾痕があった。警察は、マフィアによる薬物絡みの殺人と見て捜査を進めているが、少なくとも被害者に薬物関係の犯罪歴はないとのこと。

イ カンヌ発生、顔見知りの女性による刺殺事件

9日の夜、仲間の自宅でパーティをしていた中で発生した殺人事件。殺人を犯した女性に最初から殺意があったか否かは不明なるも、事件発生後、居合わせた者達が遺体を移動して事件の隠蔽を図っている。

ウ アンティープ発生、ケンカが発端の刺殺事件

15日早朝、Bricka 通りで複数名の殴り合いのケンカが発生し、最終的に1名がナイフで背中を刺されて殺害されたもの。

エ マルセイユ発生、小銃による殺人事件

19日から20日にかけての深夜、15区 Bougainville の Cougit 通りで20代男性が小口径(9mm)の銃で数回撃たれ殺害された。

オ マルセイユ発生、カラシニコフ使用の殺人事件

22日の夜、14区 Bon-Secours において、男性がカラシニコフで撃たれて殺害された。被害者の体には50発もの弾丸が撃ち込まれており、犯行に複数のカラシニコフが使用されたと見られている。この男性には強盗の犯罪歴があるものの薬物絡みの犯歴はなく、警察は薬物取引上のトラブル以外の可能性を含め捜査している。今年マルセイユ近郊で発生した銃殺事件はこれで10件となった。

カ ラ・シオタ発生、口論の末の銃殺事件

24日、シテ地区付近で男2名が口論していたところ、1名が持っていた銃で相手を撃った。被害者は友人によって病院に運ばれたが、間もなく死亡した。

キ コルシカ島発生、男女銃殺事件の発生と犯人の逮捕

23日夜から24日にかけて Bonifacio で次々発見された男女の銃殺遺体につき、警察は25日に2名を殺害した男を逮捕した。

（3）強盗

ア モンペリエ発生、ガソリンスタンドでの強盗事件

1日の夜、市内 Racambale 通りにあるガソリンスタンドに目出し帽をかぶった3人組の男が現れ、持っていたけん銃で店員を脅し、現金を奪って逃走した。怪我人は出なかった。

イ モンペリエ発生、女性の首飾りを狙った強盗事件の発生

6日の夕方、市内 Lodeve 通りを歩いていた女性が、何者かに首飾りを引きちぎって強奪される事件が発生した。この地域では同種事件が既に何件も発生している。

ウ レ・ペンヌミラボー発生、宝石強盗事件

8日の夕方、商業施設ブランドカンパーニュにおいてカラシニコフを持った強盗3名が宝石店内に押し入り、宝石を強奪した。この施設では昨年2月から数えて3件目の強盗事件となるが、最初の事件の犯人は本年5月に逮捕されている。

エ マルセイユ発生、連続強盗事件

8日午前中、8区 Escale Borely にある洋服店にフードで顔を覆った若い男3名が素手で店員を脅し、レジの現金を奪って逃走した。

同じ日の夕方には12区 Saint-Barnabe にある化粧品店でも同様の強盗事件が発生しており、警察は同一犯による連続犯行の可能性があると見て捜査している。

オ アルル発生、邦人旅行者に対する強盗致傷事件（メルマガ6号にて掲載済）

12日の昼頃、アルル郊外にある「ゴッホの跳ね橋」にて、邦人旅行者が銃とナイフを持った男に脅され、荷物を奪われた。被害者の内1名が犯人の去り際を追ったところ、けん銃で殴打され負傷した。

カ マルセイユ発生、連続路上強盗犯の逮捕

12日、6区 Paul-Cezanne 路上で通行中の女性を殴打して所持品を奪った強盗犯2名を逮捕した。犯人らは3日から同じ手口で強盗していた。

キ マルセイユ発生、閉店直後を狙った強盗事件

15日の夜、15区 Saint-Louis 通りにある商店が店を閉めた直後、店内に覆面をした男1名が押し入り、素手で店員を威嚇して売上金を強奪した。

ク マルセイユ発生、バー店内における強盗事件

21日未明、8区 Pointe-Rouge のバーで最後の客が店を出たところを見計らって2人組の男が店に入り、店長を脅してレジ内の現金を奪って逃走した。

ケ マルセイユ発生、2店舗同時強盗事件

19日夕方、10区 Saint-Loup に隣接するパン屋とミニスーパーに強盗が押し入った。犯人は4人組で、車から降りると二手に分かれて2軒を同時に襲撃した。このうち2名は翌日逮捕された。

コ マルセイユ発生、カラシニコフ使用強盗事件の発生と犯人らの逮捕

25日午前中、3区 Plombieres 通りのスーパーにカラシニコフを持った若者4、5名が押し入り現金を奪った。犯行後の犯人らの逃走先が13区 Parc Coro にあるアパートだと突き止めた警察の特別部隊は潜伏場所を急襲し、30分後に犯人3名を逮捕した。

サ マルセイユ発生、信号待ちの車を狙った強盗致傷事件

26日の昼頃、14区 Bon-Secours の Freres-Cubeddu 通りを窓を開けたまま走行していた車が信号待ちのため一時停止した際、若い男2名が現れ、1名が窓越しに助手席の女性が身に着けていた首飾りを無理矢理奪い取ろうとした。驚いた運転手男性がアクセルを踏んでその場を離れようとしたところ、もう1名が窓から運転席に飛び入り、持っていたナイフで運転手の脚を刺し、アクセルを踏ませないよう妨害した。結局犯人らは首飾りを奪うことに成功し、逃走した。

シ マルセイユ発生、同一犯が関与すると見られる連続強盗事件

29日深夜、12区 Caillos の路上を走行していた車が男1名に銃で脅され降車を命じられ、そのまま車を強奪されるという事件が発生した。

3時間後の翌日未明、今度は8区 Bonneveine のスナックに男3名が押し入り、ナイフと特殊警棒で店員を脅かしてレジ内の売上金を奪う事件が発生した。1件目の事件の被害車両と2件目の事件の犯行使用車両が酷似していることから、警察は同一犯が関与する事件と見て捜査している。

(4) 性犯罪

把握なし

(5) 誘拐・立て籠もり

把握なし

(6) 傷害

ア モンペリエ、通行人切りつけ犯人の逮捕

6日、モンペリエ中心街で通行人の手をナイフで切りつける事件が発生し、犯人が逮捕された。現場周辺では顔などを切りつけられる同種事件が3件発生していた。

イ マルセイユ発生、ドライバー使用の刺傷事件

27日午後、14区 Micocouliers にある市営プールにおいて、同プールの閉鎖決定に不満を募らせた若い男が持っていたドライバーで同プールのインストラクター男性を刺して怪我を負わせる事件が発生した。

ウ マルセイユ発生、帰宅途中の女性に対する切りつけ事件

29日夜、女性が7区海沿いにあるレストランを出て帰宅しようとしたところ、男1名が女性を路上で呼び止め現金をめぐむよう要求した。女性が男の要求を断り立ち去ろうとしたところ、男が持っていたナイフで女性の背中を刺したものの。

(7) 薬物犯罪

ア マルセイユ、警察による130万ユーロの押収

17日、警察当局が16区カステラーヌにある建物内で薬物事件捜査のため捜索を実施した結果、130万ユーロを発見・押収し、関係者23名を逮捕した。

イ マルセイユ、転売目的の大麻を押収

18日早朝、警察当局が14区 Sainte-Marthe の個人住宅において、大麻16.5kgを押収した。大麻は既に小分けして梱包されており、転売できる状態にあった。

ウ オード県ナルボンヌ発生、大麻所持犯による交通死亡事故の発生

24日昼過ぎ、警察車両に追跡されていた車両が高速道路上で接触事故を起こした。相手方トラックの運転手は即死した。逃走していた男の車内には大麻180kgが積まれていた。

※ここに掲載した事件は新聞等の公開情報を基にまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。